

商学研究科推薦入試概要

■募集総定員：80名(一般入試も含む) ■入試科目：口述試験 ■入学検定料：25,000円

※日程等の詳細は入学試験要項をご確認ください。

学費・奨学金

[1年次学費]

634,500円

※2018年4月入学者学費
 ※5年一貫修了制度適用者が1年で修了した場合は、1年次学費のみとなります。
 ※内部進学者は、入学金が免除されます。
 ※2019年度入学者以降の学費についてはウェブページをご参照ください。

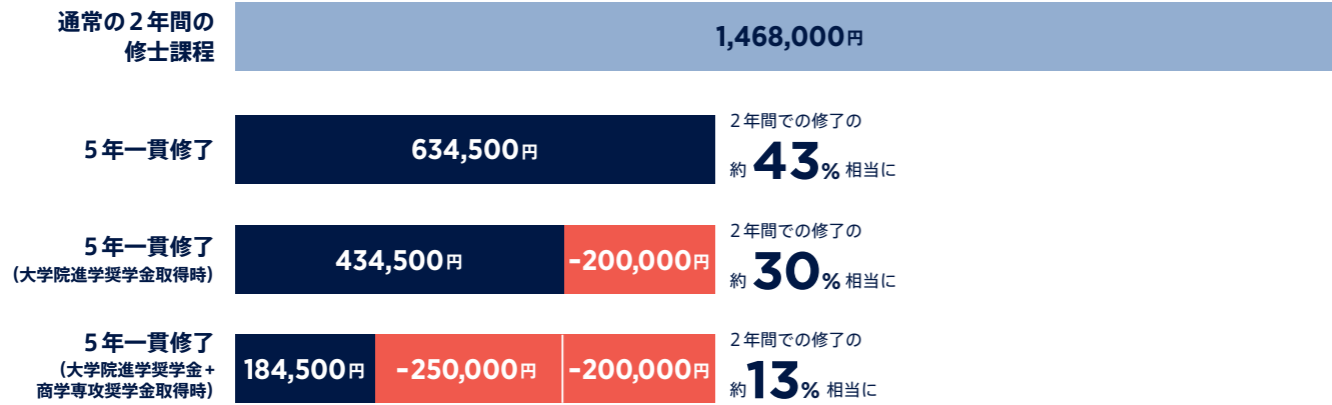
内訳	
授業料	624,000円
演習料	2,000円
学生会費	2,000円
学生会入会金	1,000円
学生会費	2,500円
学生健康増進互助会費	3,000円

[奨学金]

推薦入試によって商学部から商学研究科に内部進学する学生を対象とした、完全給付型の単年度奨学金は2種類あります(出願時に申請)。その他、入学後の給付型奨学金もあります。

奨学金名	選考基準	年額	採用数
寺尾巖奨学金	推薦入試最優秀合格者	30万円	1名
商学部寄附講座 大学院進学奨学金	成績などにより判断	20万円	25名
商学専攻奨学金	成績などにより判断	25万円	若干名
大隈記念奨学金	成績により判断	40万円	若干名
小野梓記念奨学金	成績などにより判断	40万円	若干名
小川冽奨学金	成績などにより判断	20万円	1名

[学費シミュレーション]



推薦入試の出願をサポートしています

推薦入試出願には推薦状の提出が必須となります。「ゼミに所属していない」「専門とする分野を変えたい」などの理由で推薦状についてお困りの方は、事務所までご相談ください。

サポート内容	推薦入試出願に関する相談を受け付け、教員との面談をサポートします。(推薦状は教員面談の結果を踏まえて作成します)
出願までの流れ	1 出願1週間前までに推薦状手配に関して事務所に相談 2 教員面談 3 出願
必要書類	GPA証明書、志望理由書、研究計画書

早稲田大学商学部 w16aa@list.waseda.jp

早稲田大学大学院商学研究科 commerce35@list.waseda.jp

学部・修士 5年一貫 修了制度



大学生活5年間、
という選択肢。

5年一貫 修了制度で 広がる未来。



学部4年間を終えて、社会に出る前に——。
あと1年、大学院生として専門性を磨いてみませんか？
4年間では物足りない、もっと商学の知識を極め
キャリアアップに繋がたい…そんな方が個性を磨き、
国際的に活躍するための制度です。

大学生活5年間で 修士学位が取れる

所定の要件を満たせば、学部4年間と修士1年間の「合計5年間」で修士号の学位を取得でき、密度の濃い充実した学生生活を過ごすことができます。

興味のある 分野を深く追究

学部から大学院にかけての継続的な学習と研究によって、専門分野をさらに深く追究することができます。また、研究成果の集大成として修士論文を執筆します。

研究発表を通じた プレゼン力の強化

大学院ならではの様々な研究発表の場を通じ、論理的で説得力のあるプレゼンテーションスキルを身に付けることができます。



就職活動で 専門性をアピール

就職活動において、商学系大学院の出身者としてその専門性をアピールすることができます。

留学と修士学位の 両方を実現

「留学」＝「延長生（5年生）」ではなく、5年間の学生生活で「留学」と「修士学位」を両立させることができます。

充実した奨学金による 修学サポート

商学部からの推薦入学者には大学院進学奨学金（学部在籍時支給）を用意しています。大学院にも各種奨学金があり、皆さんの学位取得を力強くサポートしています。

5年一貫 修了制度を 受けるには

成績 学部2、3年次までのGPAが2.6～2.7以上
学部在学中の成績が①または②のいずれかを満たすこと。
①6 semester 終了時点で、GPA2.60以上（上位25%相当）
②4 semester 終了時点で、GPA2.70以上（上位20%相当）
※②は5 semester 目以降で2 semester 以上の留学を予定する者（休学としての留学を除く）

単位 学部4年次に大学院科目を先取り履修
7 semester 以降に、大学院科目を先取り履修し10単位以上を修得すること。
※本制度適用者は、大学院入学後16単位まで単位認定可能。学部在学中は自由科目扱いとなる。

入試 推薦入試で大学院に合格
大学院入試を推薦入試で合格すること（出願時点でGPA2.50以上が必要）。出願時に、修士課程における指導教員承認済みの「早期修了希望届」を提出すること。

大学院進学後の条件

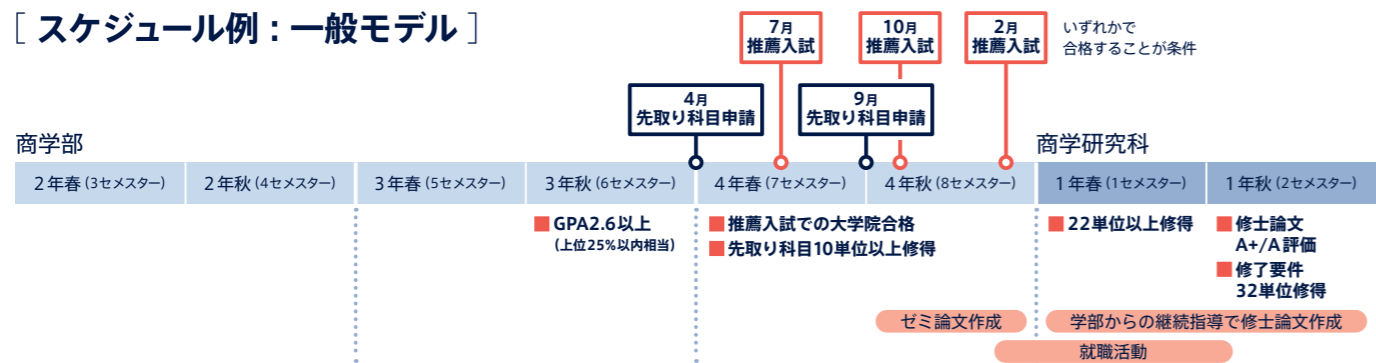
- 1 semester 終了時点で、修了要件単位数22単位以上を修得
- 2 semester 終了時点で、修了要件単位数32単位以上を修得
- 研究指導に合格し、修士論文評価がA+またはAであること

必要単位数は通常2年間の修士課程と同様

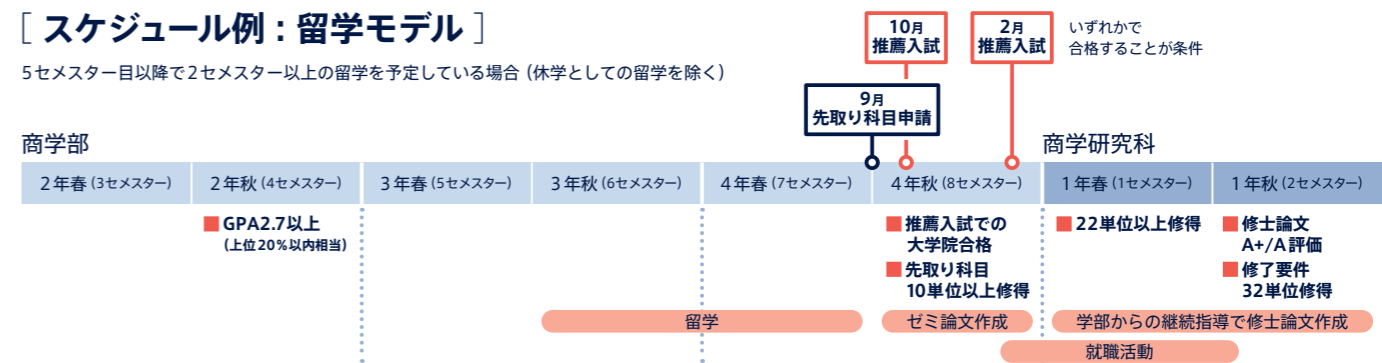
修士課程修了に必要な単位数は32単位です（2年間の修士課程と同様）。そのため、学部4年次に10単位以上を先取りする必要があります。



〔スケジュール例：一般モデル〕



〔スケジュール例：留学モデル〕



修了生のことば | 実務面でも鍛えられた一年

学問をより深めたいと思い大学院に進学しましたが、学術面だけではなく実務面でも学ぶことが多くありました。大学院では常に自分の意見が求められたり、タイトなスケジュール管理が必要だったり、社会人の基盤となる実務力を養うことができます。現在はメーカーに就職し営業をしていますが、目の前の数字を鵜呑みにせず「なぜ」を繰り返すことがとても重要だと実感しています。修士論文を執筆した際に鍛えられた「背景や理由を考え抜く思考力」が、今の私の大きな糧となっています。

本制度は奨学金も充実しており、何となく一年で修了できる制度であるため、民間企業への就職に対する不安がある方にとっても良い制度だと思います。大学院卒という「文系で？」と驚かれることもありますが、「何を学びたいか」「どうなりたいか」という思いがある人には最適な選択肢と言えるのではないのでしょうか。自分の可能性を広げるためのひとつの手段として、ぜひ検討してみてください。

齋藤真珠子 [2016年度修士課程修了]
富士フィルム株式会社勤務



修了生のことば | 5年一貫修了制度で学生生活の集大成を

5年一貫修了制度のおかげで、中身の濃い大学生活を送ることができました。本制度は短い期間に、多くの経験を与えてくれます。まず、私は学部時代の交換留学で3年生から4年生にかけてボストンに行きました。本来なら学部の延長生になる5年生を使って修士課程を修了することができ、時間を有効に使い、多くを学ぶことができました。2つ目は充実した院の授業です。1クラスは比較的小さいため、教授との距離も近く、クラスメイトと共にインタラクティブな授業が実施されています。学部で学んだ知識を基礎に、よ

り主体性をもって発展的内容を学ぶことができます。最後は2つの論文です。学部生の時にゼミ論文、修士で修士論文を書くため、単に専門的知識だけでなく計画的かつ自主的に物事を進める力が養われます。5年一貫修了制度はとても充実した制度です。社会人になる前の、学生最後の1年としてふさわしい時間が過ごせるプログラムですので、学部生の皆さんは検討してみてくださいませんか。

石澤宏紀 [2017年度修士課程修了]
メリルリンチ日本証券株式会社 内定

